# 演奏曲解説

## ウィーンはウィーン

オーストリアのヴァイオリン奏者ヨハン・シュランメルにより1877年に作曲されたこの曲、当初はヴァイオリン、コントラバス、ギターで演奏するために作られましたが、のちに吹奏楽に編曲された曲です。明るく陽気な曲調が華やぐウィーンの街を彷彿とさせます。

## 優しいあの子

2019年NHK連続テレビ小説『なつぞら』の主題歌として使われたこの曲は、日本のロックバンド、スピッツの楽曲です。北海道の大自然に育った主人公は上京してアニメータを目指します。歌詞の最後にある「たどり着いたコタン」のコタンはアイヌ語で部落の意味です。
帰るところがあるというのは良いものですね。

## 宿命

夏の高校野球応援ソングとして Official髭男dismにより書き下ろされた楽曲です。“ヒゲダン（愛称）”メンバー４人のうち２人が吹奏楽部出身で、実際にスタンドで野球応援をした経験もあるそうです。この演奏で野球場に響くブラスの応援を思い浮かべる人もいるのではないでしょうか。ヴォーカルのまっすぐな声を表現するような管楽器のユニゾンも聴きどころです。

## 生まれてはじめて

大ヒットを記録しているディズニー創立90周年記念映画「アナと雪の女王」の劇中歌です。己の力が気付かれるのではないかと不安を抱きながらも覚悟を決める姉・エルサと、新しい出会いを期待して心躍らせる妹・アナ。戴冠式の朝を迎えた2人の心情をデュエットで表現した楽曲です。

## 紅蓮華

現在、社会現象的な大ヒットとなっている劇場版「鬼滅の刃」無限列車編。「紅蓮華」はLiSAが歌うテレビアニメ版「鬼滅の刃」のオープニングテーマ曲で、紅蓮華（ぐれんげ）とは、紅色の蓮の花という意味です。

## 主よ人の望みの喜びよ

音楽の父、ヨハン・ゼバスティアン・バッハが1723年頃に作曲した教会カンタータ「心と口と行いと命」と言う曲の通称が「主よ人の望みの喜びよ」です。クラシック音楽に興味のない人でも一度は聞いたことがあるメロディーだと思います。
優しいバッハの旋律をお楽しみください。

## スポーツショー行進曲

NHK連続テレビ小説『エール』の主人公、古関裕而が作曲した曲で、NHKのスポーツ番組のテーマ曲として使われました。古関は日本のスーザとも呼ばれており、式典やスポーツ大会のための音楽も多く残しています。阪神の「六甲おろし」、巨人の「闘魂こめて」あるいは早稲田の「紺碧の空」、慶應の「我ぞ覇者」と、対抗するそれぞれの応援歌を書いているのも面白いところです。

## まちがいさがし

若手人気俳優でありながら音楽アーティストとしても大きな注目を集めている菅田将暉の楽曲で、人気シンガーソングライターの米津玄師が彼のために作詞、作曲、プロデュースを行い提供した楽曲です。2019年に放送されたテレビドラマ「パーフェクトワールド」のテーマソングにもなり、ドラマの世界観にぴったりの、強いメッセージが多くの人の心を打つ一曲です。

## 糸

人と人とのめぐり逢いを「糸」になぞらえて紡いだ、中島みゆきの珠玉のバラード。1992年に発売されたアルバム「EAST ASIA」の収録曲で、心に響く歌詞が多くの人々に愛されている名曲です。
本日はクリスハートのカバーを元としたアレンジでお届けいたします。

桃源ウインドアンサンブル2代目案内係ももえ